

専門（総合土木）

土木計画

上水道の水質に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 水質基準は、生活利用上あるいは、水道施設管理上の障害を生ずる恐れのある物質のみ定められており、人の健康に関連する物質の定めはない。
2. 水質基準項目では、大腸菌は、検出されないこととされている。
3. 水質基準項目では、味や臭気に異常がないことを定めているが、水道水の色についての定めはない。
4. 水中のカルシウムなどのイオンに由来する水の硬度は、高いほど石けんの洗浄効果を高め、過剰存在による悪影響がないため、含まれる量の下限值のみが定められている。
5. 水道施設の衛生上必要な措置として行われる塩素消毒による遊離残留塩素は、給水栓において0.01 mg/L 未満でなければならないとされている。

(正答 2)

農学一般

担い手への農地集積・集約化と農地の確保に関する次の記述A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. 日本の農地面積は、平成2（1990）年に約520万haあったが、令和2（2020）年には、約440万haとなった。
- B. 令和2（2020）年の北海道の1農業経営体当たりの経営耕地面積は、都府県平均の約3倍となっている。
- C. 農地中間管理機構（農地バンク）は、地域内に分散・錯綜^{さくそう}する農地を借り受け、まとまった形で担い手へ再配分し、農地の集積・集約化を行っている。
- D. 農地面積に占める担い手への農地集積率は、近年上昇しており、令和元（2019）年度末時点で30％になっている。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. A, D
- 4. B, C
- 5. B, D

(正答 2)